

## 地域学校協働本部事業研修会を実施しました

令和4年11月30日（水）、緒川地域センターを会場に「令和4年度 常陸大宮市地域学校協働本部事業研修会」を実施しました。この研修会の目的は、事業推進の核となる地域学校協働活動推進員の資質向上です。

地域学校協働本部事業では、「学校支援活動（学校支援ボランティア）」や「地域社会における地域活動」、「学びによるまちづくり」を実施します。この事業をとおして、地域全体で子供たちの学びや成長を支え、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して様々な活動を推進します。

研修会では、まず事例発表を行いました。地域学校協働活動推進員の小野氏と石崎氏が自校の取組を発表しました。続いて、学校支援活動等に係る成果や課題、解決策についてグループ協議を行いました。2つのグループに分かれて熱心に話し合われました。その後の全体協議では、グループ協議で話し合った内容について共通理解を持ち、その解決策について全体で協議しました。

参加者が各校の本事業の取組を知り、今後の事業推進に役立てることができました。

### 【事例発表】



上野小学校地域学校協働活動推進員 小野 ヨリ子氏  
推進員の仕事は、地域を知り、学校からの要望を聞き、活動して下さる方を見つけることである。地域の活性化につながる地域と学校の橋渡しを頑張りたい。



御前山小学校地域学校協働活動推進員 石崎 重昭氏  
御前山小学校では、今年から学校運営協議会を開始し、地域学校協働本部事業と一緒に推進している。学校と地域を繋ぐパイプ役として学校支援活動等を推進している。

### 【グループ協議】



Aグループ（大宮中・第二中学校区）  
環境整備等屋外のボランティアがなかなか集まらないので、区長や知り合いに声かけしている。推進員として学校へ出向くなど学校との連携を大切にしたい。



Bグループ（山方中・明峰中学校区）  
コロナ禍でボランティアが減っているため声かけをしている。体験活動の重要性が高まっているので、推進員から学校へ呼びかけるなど学校との連携を大切にしている。

### 【全体協議】



#### 課題と解決策等

- ① 学校と推進員との連携を大切にする。《足を運ぶ》
- ② ボランティア登録の意思確認が必要である。  
(今年度末に実施する予定である。)
- ③ 学校のニーズの把握も大きな課題の一つである。  
(年度末に各校の支援要望を調査している。)